



第 25 回 体育大会開催

校長 徳重 清純

9月23日(日)に第25回の体育大会を実施しました。前々日まで雨だったのでちょっと心配しましたが、丁度良い湿り具合のグラウンドコンディションとなり、好天にも恵まれた絶好の体育大会日和となりました。

今大会で一番印象に残り嬉しかったことは、開会式から閉会式まで全校生徒が、一生懸命に一つひとつのプログラムや係の仕事等に取り組んでくれたこと。何日も経った今でも、忘れられない場面を幾つも思い出すことができます。

- 練習から本番まで試行錯誤しながら全校生徒をまとめてきた、体育大会実行委員長の米田玲緒さんと副委員長の佐々木大育君のリード。
- 赤・青・黄組の団の競い合いはあっても、お互いを称え、平成最後の体育大会を一緒に大成功に導こうとする42人の応援団の頑張りや連帯。
- 3年連続重量上げで新記録を打ち立てた脇田晃太郎の活躍と、新記録樹立の瞬間に巻き起こった会場全体からの大きな拍手。また、倒れた脇田君を胴上げしよう駆け寄った仲間たち。
- 吹奏楽部の演奏に合わせて、大会閉会式で全校生徒が声高らかに歌った校歌。

等々、胸が熱くなるシーンを沢山見ることができたのは、私ばかりではなかったのではないのでしょうか。生徒たちの頑張りや努力に心から拍手を送り、記憶に残る第25回体育大会を創った全校生徒を称えたいと思います。

最後になりましたが、保護者や地域の皆様方には、大会運営の手助けや生徒への応援等、多大なご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

新記録	氏名	記録
3年男子100M	井田 悠潤	12秒0
3年重量上げ	脇田 晃太郎	7分40秒6
応援の部優勝	青組	
競技の部優勝	青組	



(第 25 回体育大会テーマ) 全力投球 全身全霊の全力疾走



生徒会立会い演説会開催

9月28日(金)6校時、体育館にて新生徒会役員を選ぶ立会い演説会を実施しました。12名の立候補者と同じく12名の応援演説者の計24名が、それぞれの公約や意気込みと、自分の応援者の良いところを、全校生徒に向かって立派に発表することができました。

現生徒会役員は、「全力投球～灯せ心に情熱の炎～」という第25代生徒会のスローガンを掲げ、笑顔がたえない学校づくりに1年間取り組んできました。毎朝のあいさつ運動、生徒朝会の運営、縦割り無言作業の徹底等の取組が、全校生徒の雰囲気を変えてきたと思っています。



【立会い演説会の様子】

す。今年は特に市中学校生徒連盟の事務局となり市内40校を束ねる会長も、本校の疋田雄誠君が務めるとい大活躍の1年となりました。10月にはハイタッチあいさつ運動も予定されています。

このように頑張ってきた現生徒会役員に負けない新役員が選出され、益々発展する生徒会を作り上げることが期待したいと思っています。

脇田晃太郎君へインタビュー！

脇田晃太郎君(3年)が、相撲の中体連全国大会で個人戦5位(個人戦では本県最高の成績)の活躍を収めたことは、前回の学校だよりで既報のとおりです。そこで9月12日、校長室にて脇田君への凱旋インタビューを行いました。

※ 以下の文中☆印は脇田君、★印は校長です。

★ この度は全国5位入賞、おめでとう。今の感想をお願いします。
☆ 今までいろんな人にたくさん支えてもらったのでホッとしています。結果を出せて本当に良かったです。



★ 県・九州・全国大会と勝ち進んでいった中で、一番大変だったのは何処でしたか。
☆ 県大会です。小学校時代から一度も上位に勝ち上がらなかったのが、今回初めて3位になれたことが、大変だったけど嬉しかったです。

★ 全国5位という結果は、どんな気持ちですか。
☆ (自分としては、)びっくりしています。
★ 今後の抱負と応援した方々へ一言をお願いします。
☆ 高校に入っても相撲をしたいと思っています。応援していただいた方々には、(なかなか結果が出せない期間が続きましたが、)本当に長い間支えていただきありがとうございました。これからも頑張りたいです。

★ 今日インタビューに答えてくれてありがとう。これまで結果の出ない辛い時代があったことを知り、(それを乗り越えた全国5位であることに)更に感動しました。脇田君の今後の活躍に期待します。今日はありがとう。

脇田君はとても上がり症で緊張し易い性格だと自分のことを分析していましたが、今大会ではその気持ちをふり切って、自分なりのパフォーマンスができたことが、好結果に繋がったとも話してくれました。優しい話しぶりの中に、人を気遣う包容力のある生徒だと感じました。これまでの努力を称え今後の活躍を祈念したいと思います。

(※ 前月号で脇田君の名前の文字に間違いがありました。お詫びして訂正いたします。)